

デジタル時代の外国人との共生について

-現場の日本語教員の視点から-

欣辰日本語学校 大阪国際研修センター

桑原 典子

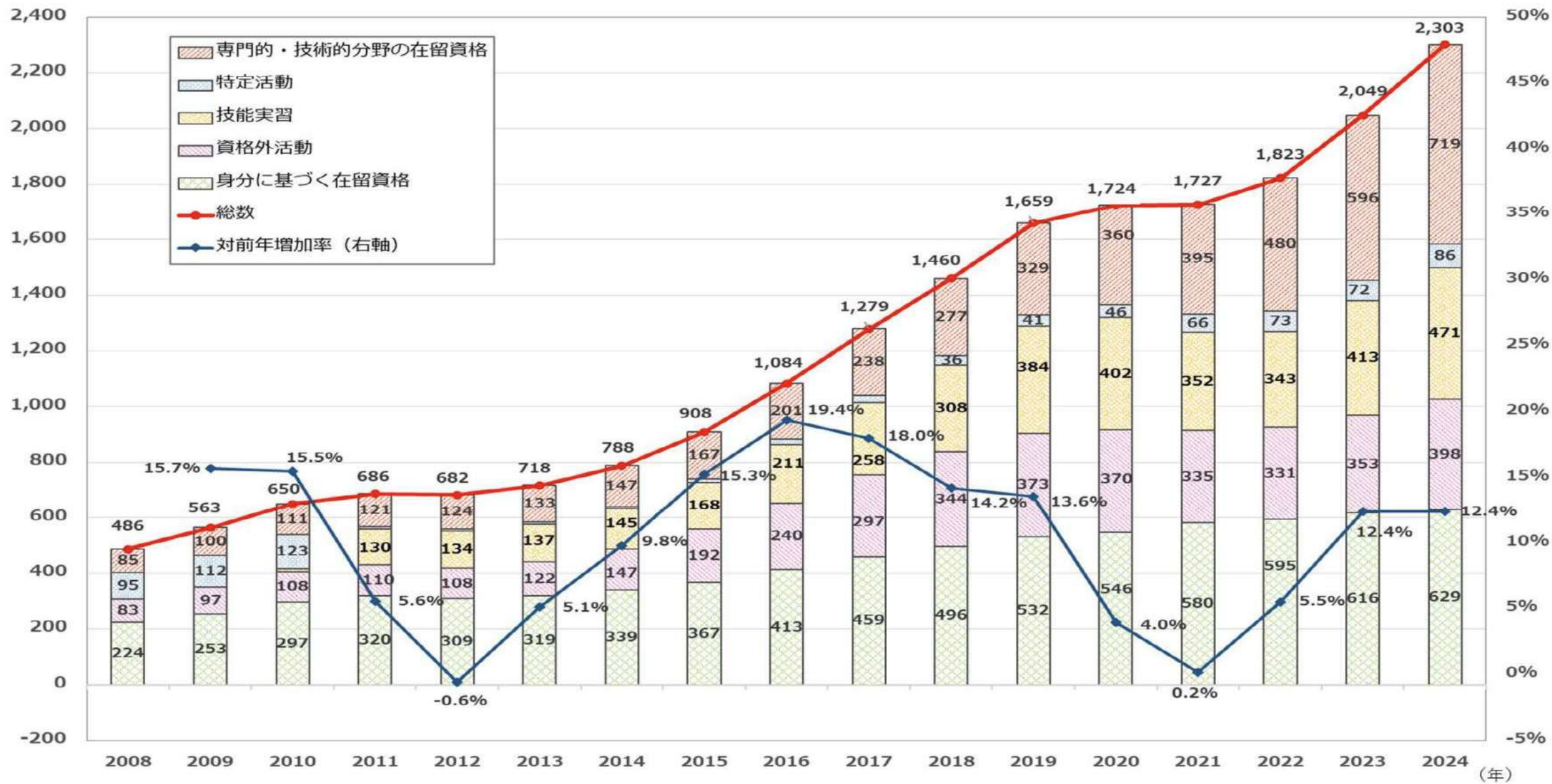
はじめに

増加する外国人労働者の背景

外国人労働者の日本語力と生活力

図 1 - 1 在留資格別外国人労働者数の推移

(単位：千人)



日本語の特徴

- ・文字の種類と数の多さ

ひらがな46字、 カタカナ46字、 ローマ字(アルファベット) 表音文字

漢字 常用漢字2136字、 表意文字

- ・オノマトペの多さ

日本語の特徴

文脈依存（ハイコンテキスト文化）

- ・主語の省略:「行きました」→ 誰が?どこへ?は文脈で判断
- ・曖昧表現:「ちょっと…」「考えておきます」→ 本音は否定かもしれない
- ・敬語の使い分け:相手との関係性で語彙・文法が変わる
(上下関係、距離感)

「言葉の外にある情報」が多い文化

ローコンテキスト文化の会話

A:「明日の午前10時に中央駅前で会いましょう。」

B:「わかりました。青いジャケットを着て午前10時にそこに行きます。」

A:「今夜7時に夕食にご一緒しませんか？」

B:「ありがとうございます。ただ、別の予定が入っているので、今夜はご一緒できません。」

言葉にすべてを明示する傾向がある

意味は？ シチュエーションは？

A: 明日の12時、〇〇〇カフェへ行きましょう。

B: OK、〇〇〇カフェで会いましょう。

日本

外国

言語から見る日本の文化的背景

- ・集団主義・調和重視: 空気を読む、相手の気持ちを察する
- ・沈黙の意味: 否定・思案・尊重など多様な意味を持つ
- ・暗黙の了解: 同じ文化的背景を前提にしたコミュニケーション

「言わなくてもわかる」が美德の文化

CEFR (ヨーロッパ言語共通参照枠)

Common European Framework of Reference for Languages



入国時の日本語能力のめやす



JLPT

日本語能力テスト

日本語の学習方法の変化

積み上げ式(文法中心)

⇒ Can-Do方式 **コミュニケーション中心へ**



漢字学習の機会が減少し、漢字がわからない外国人が急増

木の枝として表現されるコミュニケーション言語活動
(communicative language activities)

受容	…読む・聞く
産出	…まとまった内容を話す・書く
やりとり	…人とやりとりして話す・書く
テキスト	…メモとり・要約・書写など
方略	…推測する・発言権をとるなど

木の根となるコミュニケーション言語能力
(communicative language competences)

言語構造的な能力	…語彙、文法、発音、文字、表記などに関する能力
社会言語能力	…相手との関係や場面に応じて適切に言語を使う能力
語用能力	…談話を組み立てる能力、流暢さ、正確さ



デジタル化が進む日本語学習



国際交流基金 JAPAN TOUNDATION
<https://www.irodoori.jpf.go.jp/>

子どもの教育現場

<https://youtu.be/LEgBOELrBcE?si=0ASmV-8lvRFH1S1F>



仕事の現場では、、、

スマホによる翻訳ソフト扱う場面が日常化

それでもコミュニケーションがとれる若年層

外国人との共生の難しさの原因

問題点

掃除 ゴミの分別ができない

騒音 夜中まで騒ぐ

日本語が通じないから・・・

「ゴミを分別してから捨ててください」

「きちんとそうじをしてください」

「夜は静かにしてください」

日本語が通じないから・・・ではない！

文法的には理解できている

曖昧過ぎる表現が理解できない

ルールを守る文化

文化の違い

郷に入っては郷に従え!

時間厳守はどの時間?

なぜ、日本の常識は世界の非常識?

結論 共生に必要な事とは

日本語力ではなくコミュニケーション力である

業務に支障がない限り日本語は翻訳アプリも活用する

自文化の押し付けをしていないか、異文化理解とコミュニケーションが大切

安全・安心・快適のために必要な日本の文化は主張する

2070年には人口の一割が外国人

今の子どもたちは、共生が当たり前の日常となる

ご清聴ありがとうございました。